



## 高槻ロータリークラブ

2021~2022

## WEEKLY BULLETIN

### 四つのテスト

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階

TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174

URL <http://www.takatsukirc.org/>

E-mail [takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp](mailto:takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp)

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 (3/2 は 12:30~13:10)

例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954 年 6 月 15 日

会長 羽根田茂子 幹事 河合一人 クラブ運営委員長 浦中郁文 会報担当副委員長 浜田哲也

No.29 2022 年 3 月 2 日 発行

### 3 月は水と衛生月間

#### 第 3264 回 本日 (3/2) の例会

- ◎ 国歌・・・君が代
- ◎ ソング・・・奉仕の理想
- ◎ 誕生、結婚、入会記念月御祝
- ◎ 創業記念月御祝
- ◎ 卓話 藤井 敏雄君  
「核兵器が開発され使われた経緯」
- ◎ 例会前の行事  
第 4 回地区大会実行委員会に向けた  
事前会議
- ◎ 例会後の行事  
3 月度定例理事会

#### 第 3265 回 次週 (3/9) の例会

- ◎ ソング・・・四つのテスト
- ◎ 卓話 内本 繁君  
「たかつき観光大使」
- ◎ 例会後の行事  
第 4 回被選理事会

#### 先々週 (2/16) の例会から

◎ゲスト・ビジター

計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
47 名	33 名	100 %
前々回例会補正後出席率		100 %
但し、Mup 0 名		欠席者 0 名
出席規定適用免除有資格者		9 名

#### 3 月度 記念月御祝

##### ◎誕生記念

清水 利男君	篠原 光子君
波々 伯部廣行君	飯田 哲久君
浦中 郁文君	長井 正樹君
小阪 大輔君	

##### ◎結婚記念

倉本 進・洋子 御夫妻	50 周年
白石 純一・玉代 御夫妻	47 周年
入谷 治夫・恵美子御夫妻	46 周年
山室 匡史・啓美 御夫妻	16 週年

##### ◎入会記念

山口 誠 君	38 周年
川面 智義君	22 周年
藤井 敏雄君	13 周年
河合 一人君	11 周年
山室 匡史君	7 周年
中西美代子君	2 周年

#### 創業記念月御祝

香西 徳治君	株式会社村上製作所	S 6.3.1	91 周年
白石 純一君	株式会社フジワーク	S 46.3.1	51 周年
藤田 貴子君	ふじた歯科医院	H10.3.1	24 周年

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

シェカール・メータ RI 会長

## ◎会長の時間

先週の例会のありました2月9日の夕方からIM第2組の15クラブの会長幹事会に出席いたしました。コロナの感染者の多い時期ですのでZOOM会議になると思っておりましたが、茶橋ガバナー補佐の意向で出席会議となりました。

議題はガバナー補佐選出について今回で2回目の協議になります。今はガバナー補佐は立候補制になっていますが、毎年ガバナー補佐の立候補者がいなくて苦慮しているのです。解決法としてクラブの輪番制にしようと思いましたが、IM第2組15クラブを5グループに分けくじ引きで順番を決めた結果、当クラブが一番最後8年後に高槻東ロータリークラブ、高槻西ロータリークラブからガバナー補佐を排出することに決めました。立候補も今まで通りで決めます。

次年度は伊藤ガバナー補佐、その次の年度は吹田西ロータリークラブの井伊 圭一郎さんに決定しています。高槻ロータリークラブは8年後高槻の3クラブで、ガバナー補佐を選出する心構えをお願いいたします。

この日はIM第2組15クラブ23名の会長、幹事が出席され、各クラブの活動の報告書が提出されました。例会については休会しているところ、ハイブリッドでしているところ色々ですが、いずれも実例会が出来ないことにより会員間の交流が出来ないことの悩みを語っておられました。このコロナの第6波が終われば通常の例会が可能になるのではと希望しています。

例会について伊丹ロータリークラブの深川 純一さんの言葉をお借りしますと、例会は出席して会員同士おしゃべりをして卓話を聞いてお互い教え教えられる場であり、例会は自分を磨き人を育てる人生道場と言われてます。又、例会は楽しいものでなければならないとも言われています。ただしロータリーの楽しい例会と言いますのは、ワイワイ盛り上がった一般で言う楽しさとは違い、会員同士、学びあい高めあう楽しみと理解していただきたい。

それでは楽しい例会の再開を祈ります。

## ◎幹事報告

・高槻現代劇場よりイベントのチラシが届いております。後方テーブルにチラシを置いておりますので、ご自由にお持ち帰り下さい。

## ◎委員会報告

### ○クラブ研修委員会

小阪 大輔

・今月は「平和構築と紛争予防月間」です。ロータリーの友1月号の推奨記事として、横書きの記事からは、P.4「RI 会長メッセージ」、P.14「第50回ロータリー研究会レポート」、P.32「地区大会略報」をご紹介させていただきます。縦書きの記事からは、P.20「ロータリー・アット・ワーク」をご紹介させていただきます。P.25・26には当クラブの支援金贈呈の記事が掲載されております。記事掲載にご尽力いただきました皆様ありがとうございます。お時間のある時に、ぜひ読んでいただければと思います。

## ○青少年育成基金特別委員会

中西 美代子

- ・「NPO 法人高槻ユースオーケストラ・高槻市少年少女ジュニアバンド第1回合同定期演奏会のご案内」が届いております。高槻市出身の指揮者 横島 勝人氏にもお越し頂き、3/5(土)14:00より生涯学習センター多目的ホールにて開催致します。入場は無料です。お時間のある方は、ぜひ足をお運びいただければと思います。後方テーブルにチラシを置いておりますので、ご自由にお持ち帰り下さい。
- ・島本町の広報誌2月号に、当クラブの青少年育成基金表彰者の島本町立第一中学校 田中 叡さんの紹介記事が掲載されております。田中さんは、第45回大阪府中・高等学校将棋選手権大会中学校の部個人戦で優勝しております。



## ◎卓話

「ロータリー活動の活性化を目指して  
CLP (Club Readership Plan) に沿って」

山口 誠

羽根田会長の年度が始まって、早や7ヶ月が経ちました。年度初めに、三つの年次目標が、会長から示されました。

- ① 会員全員が理解しあってロータリーを学べる楽しい機会を提供すること
- ② 地域に根付いた奉仕活動として、青少年育成に取り組むこと
- ③ あと2名の女性会員を増員すること

また、

- ① 今年12月開催予定の地区大会のホストとしての準備
- ② 来年6月に迎える当クラブの70周年記念事業の準備

があり、今年度は大変忙しい年になるとのお話もありました。

しかし、この2年余りは新型コロナの影響で、例会の開催を含めたロータリー活動全般が大きく制限されています。更にコロナ前から、クラブに熱気や活気、緊張感が少ないという声を、耳にすることがあります。今回の会員意識調査でも、回答者の8割以上が、「クラブの改革が必要」と答えておられます。

20年余り前にも、ロータリークラブの規模が縮小し、活動も低調になる時期がありました。国際ロータリーはその解決策として、「ロータリークラブの規模および活動の、衰退からの復活」という目標を掲げて、CLP (Club Leadership Plan) という管理的枠組みを作成しました。折角立てた立派な活動計画を、確実に実行していくためのシステムの提案と言えるでしょう。CLPは2004年度に国際ロータリーの理事会で承認され、各クラブへの推奨が発表されました。当クラブでは2007~2008年度に、本格的に導入しました。

しかし CLP が導入されて既に 14 年が経ち、当時に在籍しておられた会員は、現在の会員 47 名中 14 名になってしまいました。そこで現在のロータリークラブの状況を顧みて、もう一度 CLP を簡単にご紹介してロータリークラブの活性化に少しでもお役に立ちたいと考えて、卓話の時間をいただきました。

クラブ・リーダーシップ・プランとは、「ロータリークラブに推奨される『管理的枠組み』であり、効果的なロータリークラブのベスト・プラクティス（最善の実践方法）に基づいて作成されています」と書かれています。会員数の維持と新入会員の勧誘を図り、クラブをさらに発展させていくためには、クラブ自体を魅力ある、生き生きとしたクラブへと絶えず変えていき、「入会をしたい」と希望されるクラブになる努力が必要です。そのためには実行するべき多くの項目がありますが、その中のいくつかをご紹介します。

### まずは 継続性の必要性

ロータリークラブは、単年度制を原則としています。単年度制の利点としては、

- ・ロータリアンは各企業を代表する方々であり多忙ですが、1 年ならば務められる可能性が大きくなります。
- ・役を担った会員が自分の人生経験を活かし、新しい発想で、毎年特徴のある取り組みを生み出せる可能性があります。

単年度制の欠点としては、

- ・1 年単位の非連続が繰り返すことになるので、どのようにしてクラブ活動とその活動目標に連続した一貫性を持たせるかが、重要な課題になります。つまり、年度の変わり目で、クラブ活動を中断させないことが大切です。

複数年度制では、クラブ活動の継続性は保ちやすくなりますが、

- ・在任期間が長くなり、担当する会員の負担が大きくなります。
- ・担当者が固定することにより活動内容が固定化し、全会員の参加という平等性が保たれにくくなる可能性があります。

- ・ロータリークラブは単年度制をとっていますから、年度から年度へ切れ目なく指導力と活動の継続を保つことが、クラブの活動を活性化するのに必要です。長期目標に沿った活動性の維持には、年度の変わり目での継続性を考えて、引き継ぎを十分に考慮しなければなりません。具体的には、会長と会長エレクトとの引継ぎのように、それ以外の役職でも、3 ヶ月～6 ヶ月ほど任期を重ねて、綿密な引継ぎを行います。特に次年度の役職者は、単に現年度の理事会に出席するだけでなく、ご自分の任期が始まる前の半年間は、前任者と 1 対 1 での申し継ぎを頻回に繰り返し、次年度の第一例会では、ご自分の年次目標を発表することで、会員にその年度のクラブ活動のイメージを示します。

さらに、役職をスムーズに果たすためには、ロータリークラブについて、ある程度の経験を持っていることが、好ましいと考えられています。

あるクラブが、役職者に望まれる経験として挙げている経験を、参考としてお示しします。

### クラブ役職に必要な資格・経験 の一例

会長	: 会長エレクト
会長エレクト	(ノミニー): 理事または委員長に 2 期以上
副会長	: 直前幹事
幹事	: 委員長、理事経験者
会計	: 元会長・幹事、または会計財務の専門職
SAA	: 理事、クラブ管理運営委員会副委員長、または同委員会 2 期以上の経験者
奉仕プロジェクト	委員長: 直前会長

- ・3 年間は同一委員会担当を原則とし、「委員→副委員長→委員長」と移る。
- ・3 年目に委員長を務めた翌年は、次の委員会に移って委員となる。
- ・以上の様に進めるためには、短くとも 3 年間の人の流れをプログラムしていく必要があります。(現会長・次期会長・次々期会長の協議で、次期の人事)

### ロータリー活動の目標

- ・まずは効果的なクラブ活動に取り組む「長期目標」を立てます。これは今後 3～5 年間のクラブの活動方針の心柱になるもので、中長期クラブ戦略委員会で作成され、随時進捗状況と成果を検討され、必要に応じて修正が加えられます。それによって長期目標を、現状に適合したものに修正していき、より効果的な活動が出来るように変えていくことが、必要です。次年度中長期クラブ戦略委員会は、任期が始まる 6 か月前から、現在の中長期クラブ戦略委員会および次期会長と協議を重ね、次年度の長期目標を作り、担当年度の第一例会で会員に発表します。
- ・会長は、長期目標を支える「年次目標」を設定します。各年度の会長は、長期目標に沿った活動を行うために、担当する年次の目標を立て、それに沿った活動計画を作成します。更に随時その進捗状況と成果を見直し、必要に応じて修正します。

### ロータリークラブの会合

- ・例会 : 当会では、定款細則で「毎週水曜日」に開催することが定められています。
- ・年次総会 : 毎年度 12 月の第一例会に開催する。
- ・クラブフォーラム (クラブ討論会) : クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕委員会主催のクラブ・フォーラム (討論会) は、奉仕部門ごとに最低年 1 回開催するように、奨励されています。各奉仕部門担当の役員・理事・委員長が討論のリーダーになり、それぞれの部門のクラブ活動の内容や課題について会員が意見を出し合い、フリーディスカッションをする機会であり、単なる情報の提供だけに終わらないことが、大切です。

- ・クラブ・アッセンブリー（クラブ協議会）
  - ： 一般的には、一年度に6回開催します。
  - 1) 次年度のための地区研修・協議会終了後、次年度のRI および地区の活動方針について報告と協議を行い、同時に次年度のクラブ会長は、クラブの長期目標と年度計画を発表する。
  - 2) 新年度の開始直後の早い時期に開催し、各奉仕部門及び各委員会のクラブ活動計画について、発表と協議を行う。
  - 3) ガバナー公式訪問前に、ガバナー補佐同席のもとに開催し、ガバナー補佐はガバナーにクラブの活動状況を報告する。
  - 4) 上半期末に開催し、各奉仕部門・委員会の上半期の活動の総括と、下半期の活動計画について、協議する。
  - 5) 下半期の中ごろに開催し、各奉仕部門・各委員会の活動状況の再チェックを行う。
  - 6) 次年度の役員・理事・委員長と合同で開催し、本年度活動の総括と次年度への引継ぎを行う。

会議の目的は：

- ・長期目標（中長期計画）と年次目標の進捗状況の検証と修正。
- ・各委員会が活動を報告し、計画の進捗状態を検証して修正する。
- ・会員の持っている種々の問題や意見の収集。  
これによって：
- ・全会員が最新の情報を把握し、クラブ活動に参加していることを実感する。
- ・全員に情報をいきわたらせ、全員による話し合いを経て、全員の合意に至る。
- ・研修会
- ・定期的に、かつ首尾一貫したカリキュラムに沿って、研修を提供する。  
新会員のための一貫したオリエンテーションの定期的な実施。  
現会員のための継続した研修  
\*懇親会や歓迎会とは切り離して行う。
- ・情報集会、炉辺会談
- ・会員に情報を伝達する。
- ・会員の意見を聞く。
- ・親睦会兼ねることもある。

クラブ・フォーラム（クラブ討論会）やクラブ・アッセンブリー（クラブ協議会）の大切な役目は、全員参加型の話し合いであり、時にはディベート形式により、問題点を深く考えることも取り入れます。時間をかけてじっくりと意見交換を行い、クラブ全体のまとまりをもった結論を出せる環境を整えていくことが、クラブ活動を活性化するのに必要と考えられます。

コロナの影響もあって、少なくともここ数年は、全員で話し合う機会が殆どなかったと思います。

話し合いがクラブ内の風通しを良くし、また会員間の親睦を促進する事にも、繋がることと期待しています。

更に、私自身の反省の思いを込めて申し上げれば、高齢会員やロータリー歴の長い会員は、クラブの歴史と伝統を大切にすると同じように、若い新しい会員の意見に十分に耳を傾け、その若い意見と意気込みと力をクラブの中へ取り込んでいく心を持つことが、クラブの発展に大切だと思います。

是非ともそのような環境が整えられることを、期待しています。

### ◎ニコニコ箱報告

- ・誕生記念内祝 **富川君**（49才となります。ありがとうございます。）
- ・結婚記念内祝 **藤井君、並木君、西田君**
- ・入会記念内祝 **西田君**
- ・皆出席内祝 **入谷君**
- ・ご家族のお喜び **山口君**
- ・卓話をお聞きいただきまして、有難うございました。  
**山口君**

本日の合計	¥	40,000-
7/1 よりの累計	¥	983,000-

### ◎R 財団への寄付

藤井 敏雄君 ¥ 5,000- 河合 一人君 ¥10,000-

本日の合計	¥	15,000-
7/1 よりの累計	¥	929,000-
年次基金会員より	¥	695,000-
ポリオプラス会員より	¥	234,000-
一人当たり平均	\$	178.07

### ◎米山奨学会への寄付

入谷 治夫君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	415,000-
会員より	¥	180,000-
クラブより	¥	235,000-
一人当たり平均	¥	8,830-

### ◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	635,000-



### ◎2/16 卓上花

チューリップ……誠実な愛・正直

スプレーカーネーション  
……感謝